

第 109 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 議事録

I. 日 時：2024 年 8 月 28 日（水）13 時 30 分～15 時 05 分

II. 場 所：Web 会議

III. 出席：（委員 16 名中、出席者 13 名）

（敬称略）飯田（JERA）、富永（三菱重工業）、三好（川崎重工業）、佐藤（発技検）、
松田（HSB ジャパン）、木村（東芝）、櫻井（日本電気協会）、羽原（関西電力）、
松尾（日本製鉄）、清水（電源開発）、藤田（大口自家発）、菊地（IHI）

代理者：上遠野（堀内（火原協）代理）

欠席者：岡（富士電機）、張（電中研）、早川（NIMS）

オブザーバ：伊藤（IHI）、西田（三菱重工業）、鈴木（三菱重工業）

事務局：中村

IV. 配付資料

109-1 第108回火力専門委員会議事録（案）

109-2 専門委員会・分科会委員案

109-3 第110回規格委員会議事録（案）

109-4-1 材料分科会報告

109-4-2 構造分科会報告

109-4-3 溶接分科会報告

109-5 火専 書面投票 No.101「発電用火力設備規格 基本規定 改定案の承認」の結果報告

109-6 火専 書面投票 No.101「発電用火力設備規格 基本規定 改定案の承認」の意見対応案

109-7 材専 書面投票 No.62「J NCF141TB に関する事例規格案レビュー」の意見対応（追加意見集約）

V. 議事

1. 前回議事録確認 [109-1]

前回第 108 回（5/22）議事録（案）の確認を行い、議事録案は承認された。

次回改定作業に際し、ASME BPVC は 2023 年版を参照とするが、B31.1 については 2024 年版を参照することが確認された。

2. 常時参加の承認

出席委員全員の賛成により、経済産業省・電力安全課の北山氏を常時参加者とすることが承認された。

3. 専門委員会、分科会の委員・役員承認 [109-2]

(1) 火力専門委員会委員の推薦承認

以下の退任委員および新任委員候補が報告され、出席委員全員の賛成により新任委員候補を規格委員会に推薦することが承認された。

・火力専門委員会：（新任） 上遠野氏

(退任) 堀内委員
(再任) なし

(2) 分科会委員・役員の承認

各分科会の以下の退任、新任、再任候補が報告され、出席委員の賛成多数により新任、再任候補が承認された。

- ・材料分科会： (新任) 田崎氏
(退任) 橋本委員
(再任) なし
- ・構造分科会： (新任) 土蔵氏
(退任) 横山委員
(再任) なし
- ・溶接分科会： (新任) なし
(退任) なし
(再任) 西尾委員、飯島委員
- ・配管減肉分科会 (新任) 若月氏、平和氏、上遠野氏
(退任) 柳谷委員、鞘本委員、堀内委員
(再任) なし

4. 報告事項

(1) 発電用設備規格委員会報告 [109-3]

第 110 回規格委員会（6/27 対面＋Web 開催）の議事内容のうち、火力及び委員会運営に関連する内容が報告された。

- 2024 年度_火力専門委員会活動計画案の報告
- 発電用火力設備規格に関する審議
 - ・なし
- 火力専門委員会報告（5/22 対面＋Web 開催）

(2) 分科会報告

1) 材料分科会報告 [109-4-1]

伊藤材料分科会主査から以下の報告があった。

- ・ 新任候補のメール審議の実施及び承認
- ・ 材専書面投票書面 No.62「J NCF141TB に関する事例規格案レビュー（可決を必要としない審議）」の追加意見に対する回答案のメール審議の実施
- ・ 次回開催は未定、実施は Web

2) 構造分科会報告 [109-4-2]

西田構造分科会主査から第125回分科会（8/8Web）の議事内容が報告された。
主な内容は以下のとおり。

- 火専書面投票 No.101（基本規定改定案の承認）の意見対応
 - ・ 意見対応案の説明がされ、一部修正のうえ承認
- 202X 年版 基本規定 添付資料及び参考資料 改定
 - ・ 詳細規定改定内容を反映した基本規定の添付資料について承認
 - ・ 参考資料については引き続き確認を実施
- 2028 年版（仮）改定作業
 - ・ 改定作業スケジュール及び作業分担案について了承
- 次回開催予定日：2024 年 11 月 8 日（金）

3) 溶接分科会報告

[109-4-3]

鈴木溶接分科会主査から以下の報告があった。

- ・ 再任候補のメール審議の実施及び承認
- ・ 次回開催は未定

各分科会報告に対して飯田委員長から、今回改定版で参照している ASME 年版（2011、2012）から次回改定作業でレビューする年版（2023、2024）は、かなり間が空いてしまっているので、計画的に作業を開始、進めて欲しいとの依頼があった。

(3) 火専書面投票結果報告

[109-5]

以下の書面投票議案の結果が報告された。

- ・ 火専書面投票 No.101（基本規定改定案の承認）の可決

5. 審議事項

(1) 火専 書面投票 No.101「発電用火力設備規格 基本規定の 202X 年版改定案 の承認」の意見対応

[109-6]

三件の意見のうち二件の回答案について意見者より了承が得られた。一件は、意見者が欠席のため別途確認することとした。意見対応による改定案の修正は無いことから、すべての意見回答の了解が確認されたのちに、9/26 の規格委員会にて書面投票の提案を行うことが確認された。

(2) 材専 書面投票 No.62「J NCF141TB に関する事例規格案レビュー」の意見対応

（追加意見集約）[109-7]

以下の内容修正を行い、回答案とすることが了承された。

- ・ 材料名称が実態を反映していないという意見（J NCF141TB の鉄成分が不純物扱いなので「ニッケルクロム鉄合金」という名称は不適切である旨）の意見に対して、「熱交換器用継目無ニッケルクロム鉄合金管」から「熱交換器用継目無ニッケル基耐熱合金管」に変更
- ・ 材料記号について JIS 規格の「NCF」が適切でないという意見に対して、

本体規格に取り入れる時と、事例規格に同じ名称を使用するのは不適切と考え、事例規格の記号としては「CC」を使用し、JCC141TBに変更（ここで「CC」はASMEと同様のCode Caseの略）

- CCを使用することに関し、機械学会事例規格での材料規格制定は今回初めての事例となるため、過去に遡及する必要はなく今後、統一的にCCとすることで対応
- 意見回答書においても、尚書きで「今後も事例規格においては材料記号としてCCを使用することとする」旨を追記
- 意見者より適宜修正するよう依頼があったものについては、回答に修正時期を明示する（拝承→次回改定時）

参考として、松尾委員（日本製鉄）より化学工業用鋼管のJIS規格とASME規格併記の材料カタログが紹介され、メーカーの立場からNCFを使用することに違和感がないとの見解が示された。

過去に火力専門委員会に取り入れに検討依頼を行った新規開発材料（HR6WとSAVE12AD）の火力規格への取入れ検討状況について質問があり、以下の回答がなされた。

- ASMEのCode Caseとしては、発行されたCC2684（HR6W）は今回の改定版（規格委員会書面投票可決済）にASME Code Case材の表II-1-3に取入れている。
- SAVE12ADは、今回の改定で参照したASMEのCode Caseとして発行されていなかったため取り入れていないが、現在はCC2839として発行されているので、次回改定時に取り込む予定である。

VI. 次回開催予定

日 時：2024年11月26日（火） 13:30～17:00

場 所：Web方式

以 上